

三陸国際文化祭企画

未来との対話 三陸とインドネシア

3月17日(日)に大槌町文化交流センターおしゃっちで行われた、「未来との対話 三陸とインドネシア」に本校生徒2名が参加し、インドネシアのアチェからいらした皆さんと交流しました。



アチェの皆さんと交流して

今回、アチェの方の発表を聞いて、日本外でも災害は発生しているんだと改めて感じる事ができました。日本人は、どうやって災害を防ぐか、どうすれば災害を減らせるかと考え防潮堤などを作りますが、アチェの皆さんは宗教的な考えで、津波は神が与えた試練と受け取っている点に驚きました。そのためアチェには防潮堤がないという点にも驚きました。今後もいろいろな地域の方と交流して、津波について学んでいきたいです。(A.T)

「未来との対話 三陸とインドネシア」に参加してとても勉強になりました。インドネシアではイスラム教なので、津波や内戦が起きた時は神様に悪いことをしたというふうに考える点に驚きました。また、お互いの被災状況を確認できたので良かったです。今回学んだことを活かしてこれからも復興研究会の活動を頑張っていきたいです(A.T)

